

## インターツム 2013 — 国際家具産業・木材加工専門見本市

会期：2013年5月13日（月）～16日（木）

会場：ドイツ連邦共和国 ケルンメッセ会場

- ファイナルレポート -

### インターツム 2013: 大成功を収めて閉幕

- ・ 148 カ国から 53,000 人の来場者
- ・ 海外からの来場者数が大幅増
- ・ 出展者は 62 カ国から 1,512 社
- ・ 展示面積 6%増

今年のインターツムは素晴らしい成果を残して、5月16日（木）に終了しました。家具製造と内装材の分野で世界をリードする同見本市には、148 カ国から 53,000 人の来場者が訪れ、前回 2011 年から微増となり、海外からの来場者比率が 70%に達しました。特にアジア、北米、東欧からの来場者が際立って増加しました。「出展者、そして特に来場者の数が増えたことで、インターツムは世界的規模で市場と業界を活性化する存在であることを証明しました」。ケルンメッセの副社長カタリーナ・C・ハマは、こう総括しました。

出展者は、62 カ国から集まった 1,512 社が世界中の来場者を魅了しました。391 社がドイツ国内から、1,121 社が海外からの出展でした。海外勢ではイタリア企業が 266 社で最も多く、トルコが 101 社でこれに次ぎました。出展者数は総計で前回は 7%増となっています（2011 年は 1,412 社が出展）。

総展示面積は 6%アップしました。これまでのインターツムと同様、来場者には購買意思決定者が多く、この点が出展者に高く評価されています。

ライン河畔の国際都市ケルンで開かれた今年のインターツムには、53,000 人の専門バイヤーが訪れ（2011 年は 52,400 人）、この内 18,000 人がドイツから、35,000 人が世界 148 カ国からの来場でした。特に海外からのビジターが増え、中国、米国、英国、ロシア、ポーランド、トルコからの来場者が増加し、より国際性が増しました。

### インターツム 2013 — 業界の声

フーベルト・シュヴァルツ Blum GmbH社長

「今年のインターツムは当社が経験した中でも最高レベルで、世界の家具サプライヤー産業をリードする見本市であることをいま一度証明しました。顧客と興味深い商談をすることができ、当社のイノベーションとコンセプトスタディに対して大きな反響、高い評価、そして感激の声が多数寄せられま

した」

**アンドレアス・ヘティッヒ Hettich代表取締役社長**

「当社にとって今回のインターツムは初日から成功であり、ビジネスも4日間にわたり素晴らしい内容でした。来場者の国際性と、そのクオリティを高く評価しています。ドイツ国内の来場者からも大きな人気を集めました。すべての面で今年のインターツムに満足しています」

**クラウス・ザーゲル VAUTH-SAGEL Holding GmbH & Co. KG社長**

「長年出展していますが、今回はその中でもほぼベストのインターツムでした。かなりの成果が得られ、雰囲気は一貫してポジティブでした。重要な取引先が全部、自分たちの顧客を連れて当社ブースを訪問してくれ、ほとんどの有力市場にコンタクトできました。このように業界をリードする見本市がケルンで開かれ、それが唯一無二の存在であることもわかりました。インターツム 2013には非常に満足しています」

**フーベルト・ヘークラウアー EGGER Gruppe マーケティング部長**

「インターツムは今回も、家具製造サプライヤーの国際舞台であることを証明しました。連日多数の来場者が訪れ、そのクオリティの高さと国際性は際立っていました。当社の出展製品にも大きな関心が寄せられました。見本市は業界の景気動向を観測する良い機会ですが、今回は非常に好況感が感じられるものでした」

**クリストフ・ラウエン Resopal GmbH社長**

「インターツムは引き続き、業界で最高のプラットフォームです。当社にとって2013年のインターツムは、またしても大成功でした。“マテリアル&ネイチャー”という見本市のコンセプトは、当社の新コレクション“Perspektiven > 2018”を紹介する理想的な機会となりました。来場者は質・量ともに期待を上回るレベルでした。当社は2015年も出展します」

**アンドレアス・アルビッヒ Rehau AG + Co.社 家具部門長**

「大変満足しています。インターツム2013は私たちの予想をはるかに上回りました。特に最初の2日間は、前回2011年と比較すると来場者数がずっと増えました。高分子表面、レーザーエッジ、そしてシステムプログラムの新製品に対して、とりわけ多数のフィードバックがありました。この反響が、今後数週間で注文と売り上げの数字につながっていくと見えています」

**ヘニング・ペーリッツ GERA Leuchten GmbH社長**

「初日の後半から来場者が切れ目なく続きました。素晴らしい雰囲気の中で商談が進み、新しいコンタクト先ができ、既存顧客とは関係を良好に保つことができました。インターツム 2013に満足です」



## インターツムのトレンド総括

特に来場者を引きつけていたのは、技術面、デザイン面におけるイノベーションでした。世界的なニーズの高まりを背景に、原材料の使用量を削減しながら高品質を保つこと、そしてサステナビリティに配慮した部材の利用が増えていることが全分野のトレンドです。このアプローチは、皮の裁断、クッションやマットレスの製造、木質複合材の利用などの分野に共通するものです。デザインを見ると、たとえば金具では、メーカーに共通して美観を抑える傾向が明らかでした。各社とも表層的な要素を排除し、製品本来の機能に傾注しています。

家具・内装材サプライヤーの業界では、カラフルな色づかいも依然トレンドです。家具、壁、床材など部材を問わず、カラフルな製品、グラフィック模様を施した製品などが多数出展されました。顧客からのカスタマイズの要請も高まっています。キッチン、バスルーム、リビング家具の内部金具もカラフルです。中子、引き出しのフレーム、ヒンジなどが色鮮やかになり、「ディテールへのこだわり」が強くなっていることをうかがわせます。伝統的な自然材料である木材も、今日のサステナビリティというトレンドに合致しており、その意味では化粧板のメーカーや販社にも充実した見本市でした。

次回のインターツムは、2015年5月5日～8日に開催されます。

詳細については以下をご覧ください：

[www.interzum.de](http://www.interzum.de)

インターツムに関するお問い合わせ先：

ケルンメッセ株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-13-6 恵比寿 IS ビル 5 階

Tel: 03-5793-7770 Fax: 03-5793-7771

Email: [kmjpn@koelnmesse.jp](mailto:kmjpn@koelnmesse.jp) URL: [www.koelnmesse.jp](http://www.koelnmesse.jp)